

二日に行われた衆院予算委員会の論戦のポイントは次の通り。

【日本学術会議】

下村博文氏（自民） 国民に理解されるように機能や役割の見直しを。

井上信治科学技術担当相 梶田隆章会長と連携し、共に未来志向で検討したい。自民党の議論も参考にしたい。

大塚拓氏（自民）

所得権益集団がポストをたらい回ししているとの批判は免れない。菅義偉首相 会員選考は閉鎖的で、既得権益のようになっている。官房長官臨時から懸念を持っていて、推薦者そのまま任命する前例踏襲はやめるべきだと判断した。国民から理解される学術会議にしたいと思つた。

江田憲司氏（立民）

任命拒否した六人の研究や業績を知っていたか。

江田氏

任命に関する方針を明らかにすべきだ。

首相

前例踏襲はやめ、例えば民間人や若い人を増やせたらいいと、私が判断した。個々人の任命理由は、通常の公務員と同様に答えを控える。

今井雅人氏（立民）

任命拒否された手野重規東大教授は五十三歳。会員候補百五人のうち五十二歳以下は十一人しかいない。なぜ任命しなかったのか。

首相

現在の会員のうち四十九歳以下は3%にすぎない。(五十二歳を若手とは認めない)

今井氏

答弁がめちゃくちゃだ。六人は安全保障関連法などに反対したから外したのか。

首相

政府の法案に反対したから外すというのはいずれあり得ない。

首相 全体の内容を見て判断する。

【デジタル庁】

下村氏 デジタル庁に強力な司令塔機能を持たせ、施策を実行すべきだ。

首相 行政の縦割りを打破し、大胆に規制改革を断行する突破口としてデジタル庁を創設する。社会全体のデジタル化へ向けて権限を付与したい。

【脱炭素社会】

小淵優子氏（自民） 二〇五〇年の脱炭素社会の実現に水素は重要な役割を担う。

首相

水素はクリーンなエネルギーであり、非常に重要な鍵となる。安価で大量に供給するサプライチェーンを構築することが大事だ。

山際大志郎氏（自民）

エネルギー政策は現実的であるべきだ。

首相

原子力を含む、あらゆる選択肢を追求しなければならぬ。経済安全保障の観点も含めて集中的に議論し、結論を出していく。

【拉致問題】

竹内譲氏（公明） 北朝鮮による日本人拉致問題の解決に全力を。

首相

私の内閣の最重要課題だ。全ての被害者の一日も早い帰国のため全力で取り組む。私自身も金正恩朝鮮労働党委員長と無条件で会って解決したい。

【GOTOトラベル】

岡本三成氏（公明） 政府の観光支援事業「GOTOトラベル」の実施期間を来年上半年まで延長してほしい。赤羽一嘉国土交通相 観光の回復状況や予算の状況を勘案し、前向きに検討したい。

【公選法違反事件】

奥野総一郎氏（立民） 河井克行元法相夫妻に議員辞職を勧告してほしい。

首相 自民党所属だった現職国会議員が逮捕、起訴されたのは残念だ。公判中の事件であり、答えは差し控えたい。